

**第 5  
分科会**
**広 報 活 動**
**研 究 課 題**
**P T Aの活性化を図る効果的な広報活動の在り方**  
 ～思いや考えを的確に、効果的に伝えるために～

**現 状 と 課 題**

広報(P R)の語源は「多くの人々と関係をつくる」ということです。P T A組織としての活動を会員や社会に正しく認識してもらい、信頼関係を築くことが大切です。また、多くの会員の考えや社会の動きなどを正しく受け止め発信する双方向コミュニケーションの役割も担っています。この目的を効果的に達成するため、どのような方法や手段があるのか、実際の取組を参考にしながら一緒に学びましょう。

**討 議 の 視 点**

- ① 効果的な広報紙づくりとは
- ② 紙媒体以外を使った広報活動・情報提供活動の工夫について
- ③ 発信力を高めるために必要な事とは
- ④ P T Aにとって必要な広報活動とは

**提 言 者**

- 基調講演者  
**道佛 一郎 氏**  
株式会社インフレックス 代表取締役
- 実践発表者  
**竹内 淳子 氏**  
香川県立高松北中学校・高等学校PTA 広報委員
- 尾原 佐知子 氏**  
香川県立高松北中学校・高等学校PTA 監事/広報委員
- コーディネーター  
**高橋 巨樹 氏**  
日本教育新聞社 編集局 記者
- パネリスト  
**道佛 一郎 氏**  
株式会社インフレックス 代表取締役
- 山田 洋子 氏**  
公益社団法人日本PTA全国協議会 元 副会長  
広島県PTA連合会 元 副会長/広報委員長
- 久保木 要 氏**  
中国新聞社備後本社 代表補佐 兼 編集部長
- 竹内 淳子 氏**  
香川県立高松北中学校・高等学校PTA 広報委員

**第 6  
分科会**
**防 災 教 育**
**研 究 課 題**
**予期せぬ災害から大切な命を守るために**  
 ～今、できること・考えておくべきこと～

**現 状 と 課 題**

2018年(平成30年)7月に発生した西日本豪雨では、広島県全域で甚大な被害がでました。それ以降も日本は各地で様々な天災に見舞われています。災害に対する子供や大人の意識をより高めるために、今私たちにできることは何かを考え、地域連携して大切な命を守るために、「防災教育」を今日的課題(地域課題)として一緒に学びましょう。

**討 議 の 視 点**

- ① 想定外の災害に備えて、考え準備しておくべきこと
- ② いざという時のため、防災情報や人的ネットワークなど活用する力を育むために
- ③ 子供たちを守るため、P T A組織としてどう活動していくべきか

**提 言 者**

- 基調講演者  
**あんどう りす 氏**  
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士課程  
アウトドア防災ガイド
- 実践発表者  
**福本 和雄 氏**  
広島県三原市立第一中学校 前 校長
- コーディネーター  
**瀧本 浩一 氏**  
山口大学大学院 創成科学研究科 准教授
- パネリスト  
**あんどう りす 氏**  
兵庫県立大学大学院 減災復興政策研究科 博士課程  
アウトドア防災ガイド
- 香川 恭子 氏**  
特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター 理事
- 五十嵐 智浩 氏**  
公益社団法人日本PTA全国協議会 監事/元 副会長
- 福本 和雄 氏**  
広島県三原市立第一中学校 前 校長